

八代市立図書館 運営方針

平成 31 年 3 月

目 次

はじめに	・・・・・・・・・・ P 1
八代市立図書館の現状	・・・・・・・・・・ P 2
1 利用状況	
2 蔵書数	
3 実施事業	
基本方針	・・・・・・・・・・ P10
運営方策	・・・・・・・・・・ P11
1 郷土を拓く人を育む図書館	・・・・・・・・・・ P11
(1) 課題解決に取り組む市民の読書活動の推進	
(2) 情報化社会の進展に合った情報提供の充実	
(3) 子どもの読書活動の推進	
2 市民のニーズに応える図書館	・・・・・・・・・・ P11
(1) ユニバーサルデザインの視点を踏まえた環境整備	
(2) 外国語資料の充実	
(3) 移動図書館の充実	
(4) 定住自立圏協定による広域連携サービスの実施	
(5) 図書館の施設整備	
(6) 指定管理者による運営	
3 八代の文化を支える図書館	・・・・・・・・・・ P13
(1) 文化創造機会の提供	
(2) 各館ごとの特色あるサービスの提供	
4 市民協働による図書館	・・・・・・・・・・ P13
(1) 学校との連携強化、協働による事業の充実	
(2) 地域施設・ボランティアとの連携・協働による読書推進	
(3) 自主事業への市民参加	
(4) 図書館運営への市民参加	

はじめに

八代市立図書館は、平成17年に1市2町3村による市町村合併が行われ、八代市立図書館本館、せんちょう分館、かがみ分館の3館体制となりました。より市民に利用しやすい図書館として、3館の図書館システムの統一や、貸出可能冊数の増加など、図書館サービスの向上を図ってきました。

その後、予算や人員の削減など運営が難しくなっていく中、八代市行政改革大綱が定められ民間委託等への推進が掲げられたことに伴い、平成22年度に八代市立図書館協議会へ今後の八代市立図書館のあり方について諮問し、答申をいただき、それをもとに平成23年度に「八代市立図書館運営方針」を策定しました。

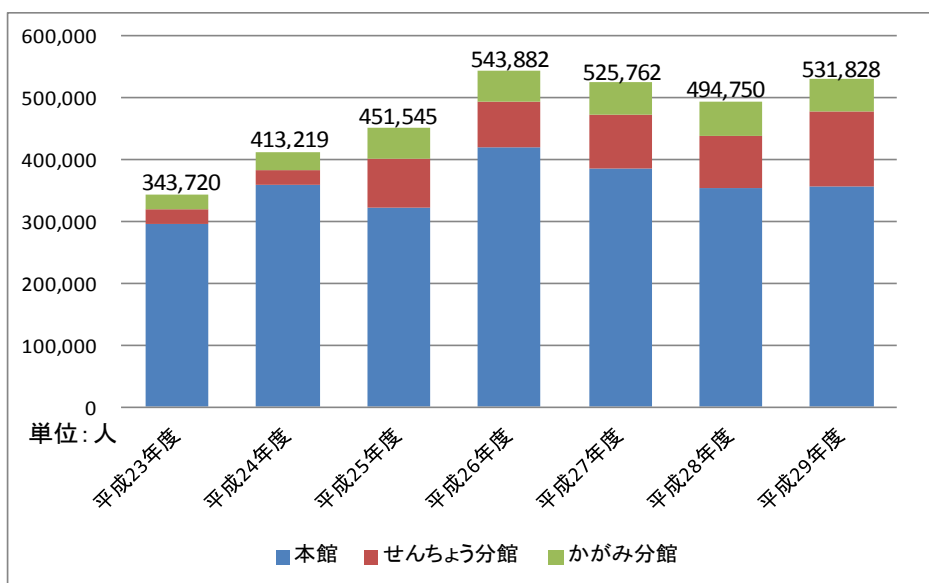
平成27年度からは、更なる図書館サービスの充実などの市民ニーズに対応するため、指定管理者制度を導入し、開館時間の延長、休館日の短縮などの利用機会の拡充や、学校や地域での出張おはなし会や講座の実施などの子どもの読書活動の推進、電子図書の導入など多様な取組を行い、サービス向上を図っています。

本運営方針は、そういった図書館運営体制の変化や、社会情勢の変化などを踏まえ、今後も図書館の役割を果たしながら、より市民に身近な役立つ図書館となるにはどのような運営方策が必要かを検討し、改定を行ったものです。

八代市立図書館の現状

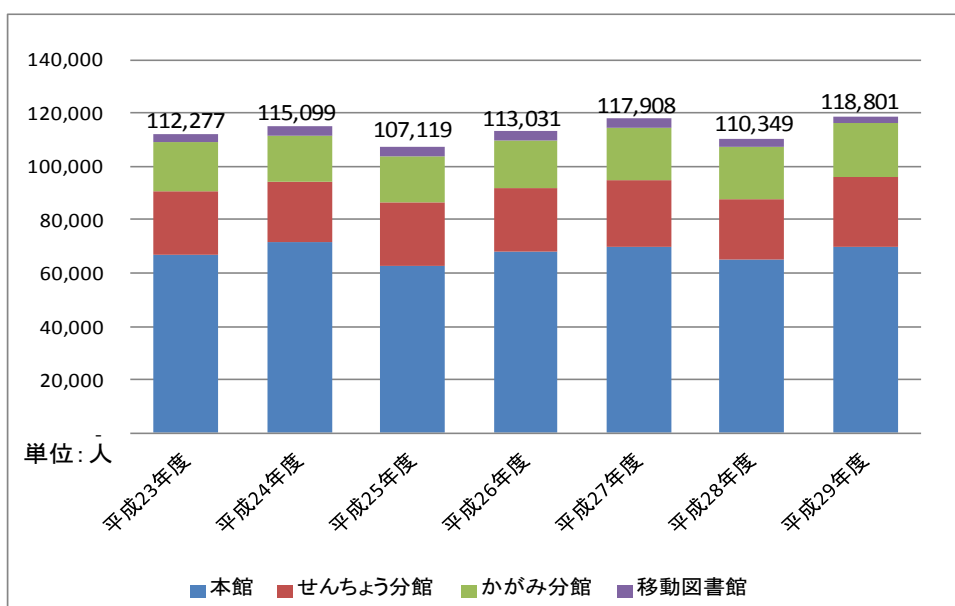
1 利用状況

(1) 入館者数



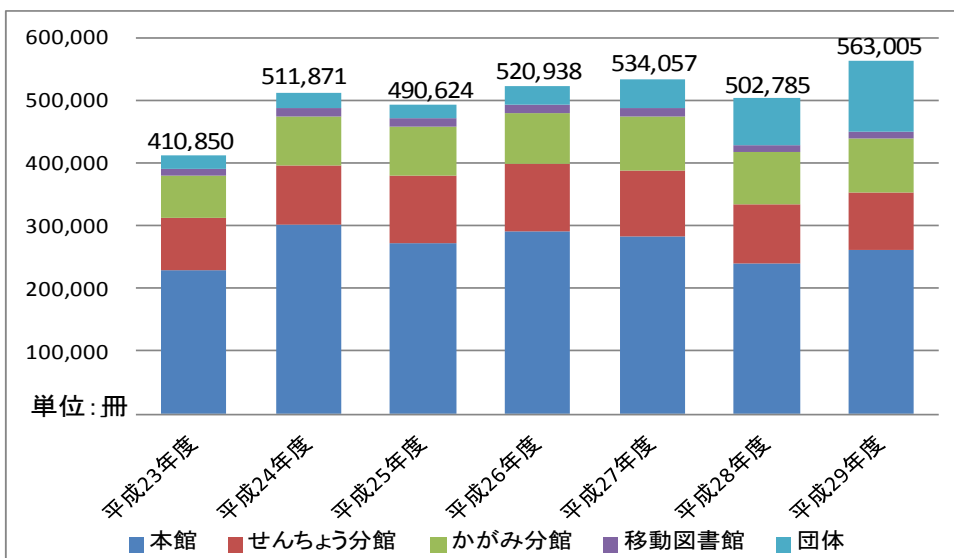
八代市立図書館は、平成27年4月から、指定管理者による運営を開始しました。入館者数は、平成28年度は平成28年熊本地震の影響で減少したものの、27年度以降増加傾向にあります。（※平成25年度～平成26年度カウント機不具合のため数値的には増加。）

(2) 図書の貸出利用者数



注記：外壁内壁工事のため図書館本館休館：平成25年12月1日～平成26年1月31日

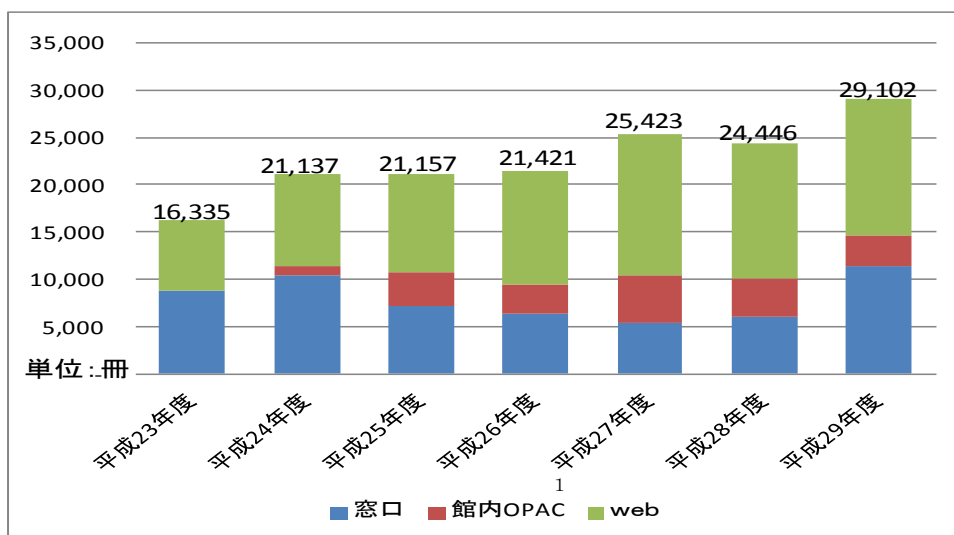
(3) 貸出冊数(個人+団体)



平成28年度の貸出人数については地震の影響で減少したものの、平成27年度、平成29年度は平成26年度と比べると、増加しています。

貸出冊数についても平成23年度から見ると増加傾向となっています。これは、貸出可能冊数の拡充、休館日の短縮、開館時間延長など利用機会の充実を図ったことも要因のひとつだと考えられます。

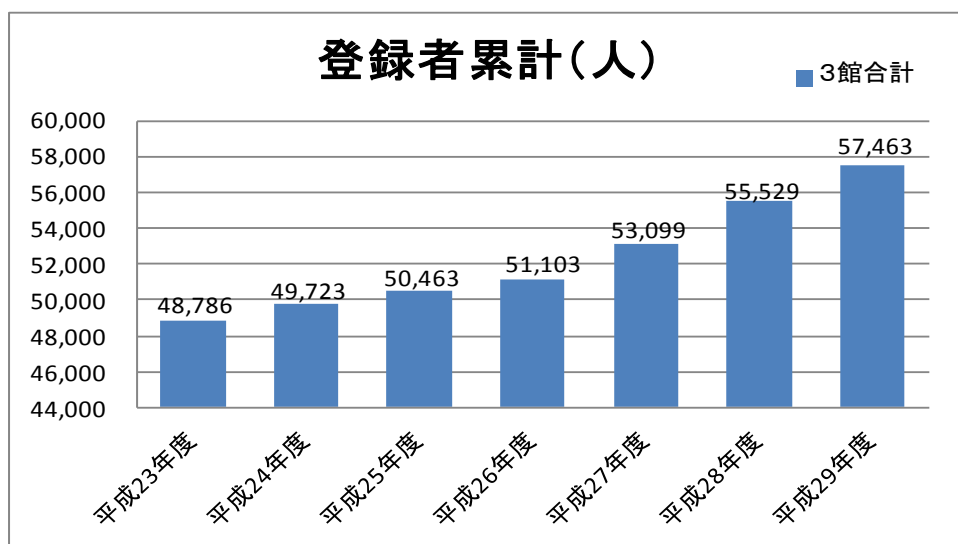
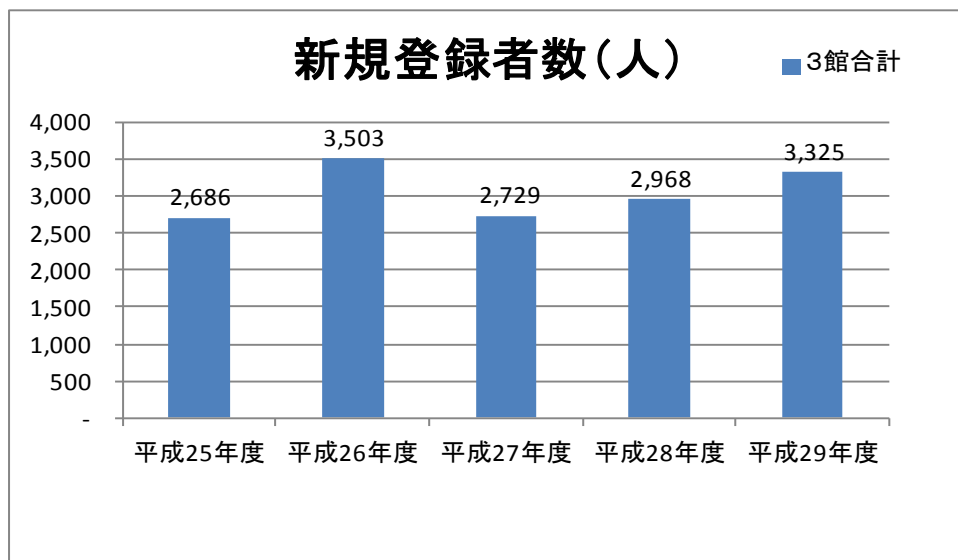
(4) 予約冊数



予約サービスについては、平成23年度と比べると約2倍に激増しました。これは、平成20年度よりWeb予約が可能になったこと、昨今のインターネットやスマートフォン等の普及により、自宅にいながらいつでも図書館のホームページにアクセスできるため、蔵書の検索や予約が容易になったことなどが要因として考えられます。

¹館内 OPAC・・・館内に設置されている利用者用図書検索機。利用者が直接操作し、所蔵する資料の検索や予約ができる。

(5) 登録者数



新規登録者数は、平成26年度と比べると減少しており、今後の大きな課題と言えます。登録者数の増加を目指し、さらに魅力ある自主事業や情報発信等を積極的に行っていく必要があります。

2 蔵書数

(1) 資料区分別 蔵書数 (単位：冊) 平成30年3月31日現在

	一般書		児童書		視聴覚		移動 図書館	計
	冊数	割合	冊数	割合	冊数	割合	冊数	
本館	212,747	74.8%	69,821	24.6%	1,787	0.6%	22,751	307,106
せんちょう	41,712	57.8%	29,340	40.7%	1,072	1.5%	—	72,124
かがみ	46,011	61.3%	27,422	36.6%	1,567	2.1%	—	75,000
計	300,470	69.7%	126,583	29.3%	4,426	1.0%	22,751	454,230

人口15万未満の市区での全国平均蔵書冊数・・・462千冊 (出典：図書館年2018)

(2) 雑誌・新聞 種数 (単位：種) 平成30年3月31日現在

	本館		せんちょう		かがみ	
	購入	寄贈	購入	寄贈	購入	寄贈
新聞	8	0	2	0	4	0
雑誌	46	5	31	1	34	1

(3) 電子図書

	新規登録 (人)	貸出 (冊)	予約 (冊)	受入数 (冊)		所蔵数 (冊)
				購入	独自	
						開館時 3,194
平成27年度	372	758	131	133	0	3,327
平成28年度	1,037	1,334	317	974	1	4,302
平成29年度	1,215	1,771	448	1,643	2	5,947

独自・・・八代に関するものや図書館講座等での発表作品などを図書館独自で電子図書化したもの。

今後も市民のニーズに沿った資料の収集と地域の情報拠点としての役割が果たせるよう更なる資料の充実を図る必要があります。

3 実施事業

平成23～26年度の主な事業

【本館】

行事名	開催月等	内容
図書館講座	月2回	「文学講座」加藤みゆき先生他5名 「八代の歴史」森山 学先生他5名
おたのしみ放映会	年2回	幼児・児童むけアニメ等の放映
名作映画鑑賞会	年6回	映画上映「TOMORROW 明日」 「海角七号」「市民ケーン」他
こどもの読書週間	4月	こどもの読書週間にあわせ、さまざまなイベントを実施。
八代市童話発表大会	7月	市内小学校代表による童話・民話の発表
夏休みおはなし会	8月	幼児・児童向けおはなし会 語り手 ひまわり文庫
クリスマスおはなし会	12月	幼児・児童向けおはなし会 語り手 子羊文庫
八代市読書感想画 コンクール作品展	1月	市内小学生の作品展示
ひなまつりおはなし会	3月	幼児・児童向けおはなし会 語り手 ひまわり文庫
0・1・2歳児向け おはなし会	月1回	0歳児～未就園児向けおはなし会 語り手 子羊文庫
幼児向けおはなし会	月4回	幼児・小学生向けおはなし会 語り手 子羊文庫

三館合同事業 ※八代・鏡の保健センターで実施

行事名	開催日数	内容
赤ちゃん ハッピーブック事業	年間34日	7ヶ月児健診の際、読み聞かせの大切さを伝え、実演や本の紹介後、赤ちゃん絵本の貸出等を行う。

【せんちょう分館】

行事名	開催月等	内容
図書館講座	不定期	趣味・教養講座等
図書館まつり	年1回	特別おはなし会やブックリサイクル等

こどもの読書週間	4月	こどもの読書週間にあわせ、さまざまなイベントを実施。
読書週間	10月～11月	特別おはなし会やブックリサイクル等
ぽかぽかおはなし会	2月	幼児・小学生向けおはなし会 語り手 山猫軒
赤ちゃん広場	月1～2回	0歳児～未就園児向けおはなし会 語り手 お話ボランティア「いないいないばあの会」
幼児向けおはなし会	月4～5回	幼児・小学生向けおはなし会 語り手 山猫軒及び図書館スタッフ

【かがみ分館】

行事名	開催月等	内容
図書館講座	不定期	趣味・教養講座等
図書館まつり	年2回	特別おはなし会やブックリサイクル等
工作教室	12月	ちぎり絵作成
おはなしぴよぴよ	月2回	0歳児～未就園児向けおはなし会 語り手 図書館スタッフ
幼児向けおはなし会	月3回	幼児・小学生向けおはなし会 語り手 ぐるんぱ
どんかちゃんおはなし会	月2～3回	幼児・小学生向けおはなし会 語り手 図書館スタッフ

平成27～29年度の主な事業

【本館】

行事名	開催月等	内容
図書館講座	毎月	大人のための絵本講座 他 講師 館長 他
名作映画鑑賞会	年6回	映画上映「オフサイドガールズ」「現金に手を出すな」他
図書館まつり	年2回	特別おはなし会やブックリサイクル等
おひぎにだっこのおはなし会	月1回	0歳児～未就園児向けおはなし会 語り手 図書館スタッフ

八代市童話発表大会	7月	市内小学校代表による童話・民話の発表
文学散歩	年1回	講師と巡る文学ゆかりの地 講師：前山 光則先生
八代市読書感想画 コンクール作品展	1月	市内小学生の作品展示
毎月DVD	月1回	DVD上映 歴史・趣味・娯楽等
おはなしバイキング	月4～5回	読み聞かせ・工作等 語り手 図書館スタッフ
えいごdeおはなし会	月1回	英語による読み聞かせ 語り手 マザーグース
0・1・2歳児向け おはなし会	月1回	0歳児～未就園児向けおはなし会 語り手 子羊文庫
幼児向けおはなし会	月4回	幼児・小学生向けおはなし会 語り手 子羊文庫
大人のための おはなし会	月1回	読み聞かせ・朗読 語り手 萌の会
出張おはなし会	計7回	小学校や商店街等からの依頼を受け、図書館スタッフが出向き実施。
出前講座	計10回	小学校や各種団体からの依頼を受け、館長が講師として出向き実施。
ビブリオバトル ²	計2回	一般バトラーによる書評合戦
バリアフリー上映会	計1回	視覚障害や聴覚障害がある方でも楽しめる映画会を実施。 上映作品：「明日への遺言」

三館合同事業 ※八代・鏡の保健センターで実施

行事名	開催日数	内容
赤ちゃん ハッピーブック事業	年間41日	7ヶ月児健診の際、読み聞かせの大切さを伝え、実演や本の紹介後、赤ちゃん絵本の貸出等を行う。

【せんちょう分館】

行事名	開催月等	内容
図書館講座	不定期	趣味・教養講座等

² ビブリオバトル：小学生から大人まで誰でも参加できる、本の紹介コミュニケーションゲーム。発表者が読んで面白いと思った本を一人5分程度で紹介し、その発表に関する意見交換を2～3分程度行い、最後にどの本が一番読みたくなったかを参加者の多数決で選ぶ。

図書館まつり	年2回	特別おはなし会やブックリサイクル等
まなびフェスタやつしろ 同時開催おたのしみ おはなし会	12月	おはなし会と工作 語り手 図書館スタッフ
ぽかぽかおはなし会	2月	幼児・小学生向けおはなし会 語り手 山猫軒
赤ちゃん広場	月1～2回	0歳児～未就園児向けおはなし会 語り手 お話ボランティア「いないいないばあの会」
幼児向けおはなし会	月4～5回	幼児・小学生向けおはなし会 語り手 山猫軒及び図書館スタッフ

【かがみ分館】

行事名	開催月等	内容
図書館講座	不定期	趣味・教養講座等
図書館まつり	年2回	特別おはなし会やブックリサイクル等
工作教室	12月	ちぎり絵作成
おはなしぴよぴよ	月2回	0歳児～未就園児向けおはなし会 語り手 図書館スタッフ
幼児向けおはなし会	月3回	幼児・小学生向けおはなし会 語り手 ぐるんぱ
どんかちゃんおはなし会	月2～3回	幼児・小学生向けおはなし会 語り手 図書館スタッフ

年間を通してさまざまな読書活動推進につながる催しや活動を行っていますが、指定管理者制度導入後は、小学校、中学校や各種団体からの依頼を受け、図書館スタッフが出向き、ブックトーク³、おはなし会、アニメーション⁴等を行い、児童・生徒の発達に応じた読書活動支援や、商店街や他機関と連携し幅広く読書活動の普及啓発を実施しています。

今後も引き続き、他の関係機関と連携し市民の読書活動をさらに推進していくため啓発等にも努めていく必要があります。

³ブックトーク：子どもや成人の集団を対象に、あらすじや著者紹介等を交えて、本への興味が湧くような工夫を凝らしながら本の内容を紹介すること。

⁴アニメーション：子どもたちの参加により行われる読書指導のことであり、読書の楽しさを伝え自主的に読む力を引き出すために行われる。ゲームやクイズ形式などがある。

基本方針

公共図書館は、地域住民に対して様々な分野の資料を収集し提供する施設です。しかし、資料の無料貸出や読書支援だけが、今日における図書館の役割ではありません。

社会は急速な技術革新を遂げています。時代の変化と情報の時代を市民がより良く生きていくためには、新聞や雑誌、Webサイト等のメディアの特性を知り、情報の的確な読み取りと活用が必要不可欠です。市民が必要な資料を気軽に入手できる施設こそ図書館であり、これを実現するために図書館は様々な活動を展開する施設へと変わらなければいけません。本市においては、平成27年度の指定管理者制度導入に伴い県内でもいち早く電子図書館を導入し、読書機会の提供に努めてきました。

本図書館は、今後も市民の読書活動の促進のために、次の4つの事項を基本方針とし、図書館運営を進めていきます。

- 1 郷土を拓く人を育む図書館**
- 2 市民のニーズに応える図書館**
- 3 八代の文化を支える図書館**
- 4 市民協働による図書館**

運営方策

1 郷土を拓く人を育む図書館

(1) 課題解決に取り組む市民の読書活動の推進

- ・様々な課題解決に役立つ図書館資料や、情報の積極的な収集・保存・提供を行います。
- ・自主事業の実施を通し、市民の読書活動の啓発及び支援を行います。

(2) 情報化社会の進展に合った情報提供の充実

- ・電子図書の充実、利用の推進及び拡充を目指したPR活動を行います。
- ・レファレンス業務について、事例の共有化や研修を実施します。
- ・市民の調べものなどに対応できる商用データベースの利用を推進します。

(3) 子どもの読書活動の推進

- ・児童用資料の充実及び環境の整備を行います。
- ・図書館スタッフによるおはなし会や、出前講座を開催します。
- ・学校や子育て支援センターへの団体貸出を推進し、子どもたちへの読書活動推進に努めます。

2 市民のニーズに応える図書館

(1) ユニバーサルデザインの視点を踏まえた環境整備

- ・大活字資料の充実を図ります。
- ・高齢者目線に立った図書館資料収集及び展示、行事を実施します。
- ・八代市電子図書館内⁵における電子図書や、オーディオブックの充実を図ります。
- ・介護制度や在宅ケアの技術などの福祉関連図書を集めた福祉コーナーを設置します。
- ・障がいのある方や高齢者など、誰もが利用しやすい環境の整備、充実に努めます。

⁵ 八代市電子図書館：八代市立図書館ホームページ上に設置している、電子図書貸出システム。八代市立図書館所蔵の電子図書の貸出、予約、資料検索等ができる。

(2) 外国語資料の充実

- ・英語やそれ以外の言語で書かれた絵本、児童書、一般書など、外国語資料の充実を図ります。

(3) 移動図書館の充実

- ・図書館から遠い距離にある遠隔地の市民への図書提供を図ります。
- ・学校等の巡回場所では、図書館スタッフによる子どもたちへの声かけや、学校からの相談等を受け付けます。

(4) 定住自立圏協定による広域連携サービスの実施

- ・氷川町及び芦北町との定住自立圏協定⁶締結による相互利用（利用カード登録、図書貸出）を継続します。

(5) 図書館の施設整備

八代市立図書館本館は開館して約33年が経過、せんちょう分館、かがみ分館においても約15年～20年が経過しており、設備の老朽化が課題です。安全で快適に利用できる環境を確保するため、計画的な施設・設備の改修や更新を行っていきます。

(6) 指定管理者による運営

市民の身近な生涯学習の中核施設として図書館運営を行ってきましたが、更なる市民サービスの向上を目指し、平成27年度から指定管理者による管理・運営を行い、開館日の増加や開館時間の延長、電子図書の導入など、より利用しやすい図書館として業務を行っています。

今後も市と指定管理者が連携・協力し、質の高い図書館サービス及び市民の読書活動の推進に努めます。

⁶ 定住自立圏協定：中心市と周辺町が1対1の関係により定住のために必要な生活機能を確保するため、役割を分担して行う連携事項について、協定を締結するもの。

3 八代の文化を支える図書館

(1) 文化創造機会の提供

- ・八代の歴史や文化に関する郷土資料の収集・保存・提供の充実を図ります。
- ・図書館講座などの事業を通して、市民の文化創造の機会を提供します。

(2) 各館ごとの特色あるサービスの提供

- ・本館、せんちょう分館、かがみ分館それぞれの立地や館の特色を生かしたサービスを提供します。また各館ごとに近隣の教育機関等との連携を図り、それぞれ特色あるサービスにつなげます。

4 市民協働による図書館

(1) 学校との連携強化、協働による事業の充実

- ・図書館資料や情報提供、読書活動推進へのアドバイスを行うなど、学校や学校図書館との連携を強化します。

(2) 地域施設・ボランティアとの連携・協働による読書推進

- ・博物館や他の教育機関などと連携した講座や、共催事業の開催を積極的に行います。
- ・朗読やおはなしボランティアによるおはなし会の実施など、図書館活動を支える市民と連携し、より読書活動を推進します。

(3) 自主事業への市民参加

- ・地域との協働を積極的に進め、ビブリオバトル出場者として市民に参加してもらいなど、市民参加型事業を充実することで、図書館利用促進を図ります。

(4) 図書館運営への市民参加

- ・八代市立図書館協議会において、委員から幅広く意見を聴き、図書館サービスに反映させます。
- ・図書館の利用拡充に向け、市民へのアンケートを実施します。